

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.190

育つてね
元気に大きく



小学生による「稚鮎」の放流(深川川)

新・伝えたい「ふるさと深川」6
『萩焼と香月泰男』

萩焼のはじまりは、慶長九年（一六〇四）に毛利輝元が広島から萩に移ってきたときまで遡ります。萩焼の祖である朝鮮出身の陶工、李勺光は輝元と共に萩へ移り住み、松本中ノ倉に窯を作りました。そして約半世紀後、深川三ノ瀬に分窯し、「三ノ瀬焼物所」（深川焼）を開きました。深川焼は江戸時代末期には最盛期を迎え、窯元も十二軒を数えました。しかし、明治維新により萩焼は苦境に陥り、昭和初期には窯元は四軒に激減しました。そのような苦境の中でも陶工たちは、伝統的な技術を高め、創意工夫を凝らし、積極的に営業活動を繰り広げながら現在へと萩焼を伝えてきました。

香月泰男（一九一〇〜一九七四）は長門市三隅出身の洋画家です。戦後、シベリアに抑留された体験を描いた「シベリア・シリーズ」で知られています。昭和二十七年（一九五二）、香月は萩焼窯へ通い始めます。初めは萩まで通っていましたが、その後、三ノ瀬の田原陶兵衛、坂田泥華、坂倉新兵衛の窯へ通うようになりました。香月は陶器への絵付けを「唯一の道楽（※）」と語り、また、その魅力について「最後の仕上げを火に委ねて待つ気持は純粹であり、ちよつと他に例のない楽しみなものである。（※）」と語っています。香月は付近の山野で採った植物などを片手に、絵付けをしたそうです。三ノ瀬の陶工たちと香月泰男の合作は、山口県内や東京、愛知で開催された個展で紹介されただけでなく、昭和四六年（一九七一）には香月泰男・坂倉新兵衛陶画作陶展が名古屋松坂屋で開催されました。江戸時代から受け継がれてきた萩焼の魅力に、現代の洋画家の筆が新たな魅力を加え、より多くの人々を惹きつける作品となったのです。

現在、ヒストリアながもでは、香月泰男が絵付けした萩焼を展示しています。長門市民の身近にある萩焼ですが、画家による絵付け作品という、いつもとは異なる一面をご覧ください。

※香月泰男「やさやかな道楽」昭和三〇年七月十日 朝日新聞（香月泰男「画家のことば」新潮社一九七四年所収）



三ノ瀬の窯で絵付けをする香月泰男

わが家のオンリーワン
ペット編



名前は はちです。
イタズラ大好き食いしん坊な
トイプードルです。



今月のうた

山茶花クラブ

だんまりも返事の 一つ鳥曇

長谷川典子

鳥曇見送る友の遺影笑む

岡田フジエ

坂下の農家の垣根花茨

永田美智子

長門短歌会

ヴェルレーヌの「巷に雨の降ることく…」
なぜか心の片隅にある

原田 満江

入院の友を思えば我がことの
よみがえり来て身につまされる

山下 映子

白無垢を羽織る娘の姿見て
亡母の微笑み重なりし吾

小林美由紀

深川地区の人口

世帯数	5,962	(+12)
男性	5,658	(+6)
女性	6,513	(-10)
計	12,171	(-4)

(R5年5月1日現在)

中央公民館6月の行事予定

3(土)	子どもクラブ
3・17(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
4(日)	地区対抗ソフトボール大会
10・24(土)	わくわく土曜塾
14・28(水)	親子でリズムック
25(日)	パター・de・ビンゴ大会

編集後記

▼いつの間にか巣立ってしまった公民館裏のつばめの雛5羽は今何処に。
4月20日に孵化し、5月14日まで親鳥はせつせと餌を運び無事5羽の子を送り出しました。巣立ちには立会えなかつたですが、朝公民館近くの電線に家族で止まってる姿を見かけます(敬)

ゴールデンウィークの賑わい戻る 深川妙見みなと祭り

5月3日(水)、湊の妙見山にある妙現社で妙見祭が行われました。飯山八幡宮と御所原大神宮の両宮司による神事が行われ、参列した湊地区の漁業関係代表者が玉串を捧げ、航海の安全と大漁を祈願しました。妙見祭の終了後、山口県漁協市場では湊船祭が開催され、神事後、3隻の漁船が大漁旗をはためかせながら深川湾を一周して海上パレードを行いました。今年から『深川妙見みなと祭り』として11店のマルシェが出店していました。また、久々に子ども元気相撲みなと場所も開催され、小学生たちの熱戦に声援が飛び交っていました。フィナーレには盛大に餅まきが行われ、多くの老若男女が熱狂していました。



世代を越えて誰でも 集いやすい中央公民館にしよう

4月26日(水)、中央公民館運営協議会の総会が開催され、公民館登録団体や理事を含めて32人が参加。前年度の活動報告及び今年度の事業及び予算案などが審議され、すべて承認されました。とくに、今年度は役員改選の年にあたり、岩本佳昭氏が新会長に就任されました。これまで長年当協議会の会長職を務めてこられた小林武人様には心から感謝申し上げます。公民館は、多くの人が気軽に「つどい」「まなび」「つながる」地域の社会活動や生涯学習の拠点施設です。もっと身近に感じられるよう、今年度もお互いの交流を深めながらさらに魅力ある公民館をみんなで目指しましょう。



(任期)

令和5〜6年度

会長 岩本 佳昭

副会長 松田 洋史

〃 西川 和江

〃 藤田 悦子

〃 田中 輝

(敬称略)

「第44回中央公民館まつり」

9月23日(土)・24日(日)

に開催予定

深川スポーツ振興会 令和5年度総会 開催

4月21日(金)、市民活動支援センター会議室にて深川スポーツ振興会の総会が開催されました。各行政区の支部長様のご出席のもと、今年度の事業計画及び収支予算が承認されました。今年度最初の行事は、6月4日(日)の「第63回地区対抗ソフトボール大会」です。小河内グラウンド・深川中学校グラウンドの2会場に分かれて開催します。



青少年育成市民会議深川支部 令和5年度総会 開催

5月16日(火)、市民活動支援センターにて、青少年育成市民会議深川支部の第1回理事會・総会が開催されました。総会には、今年度改選された各地区の地区育成委員の皆さんや、深川地区の学校長、交番所長が出席しました。会議では、令和4年度の活動・収支報告と、令和5年度の活動計画・予算について承認されました。また、学校・警察より子どもたちの様子について話がありました。4月は登下校中の事故が起きており、歩行者も運転側も気を付けてほしいこと、深川中の生徒が道路に倒れていた高齢者を助けたこと等が報告されました。

わくわく土曜塾 始動 開講式&深川中で芋苗植え

令和5年度の「わくわく土曜塾」が開講しました。「わくわく土曜塾」は、市内在住の小学生を対象に、長門市内での様々な体験活動を通して、長門の良さを知ったり、コミュニケーション能力を伸ばしたりすることを目的に活動しています。今年度は37名の塾生が集まりました。

5月13日(土)に行われた開講式では、自己紹介をした後、公民館の花壇に植木鉢を並べて、白オクラの苗を植えました。この白オクラは、7月に調理をする予定です。

5月20日(土)は、深川中学校で、中学生と湊地区サロンの皆さんと一緒に、さつまいもの苗植えをしました。苗はJAに提供していただきました。深川中お助け隊の皆さんを中心に畑の準備をしていただき、協力して苗を植えながら交流しました。こちらも10月に収穫、1月の活動で焼き芋にする予定です。



新入生歓迎！ 向陽の和を作っていきこうよう集会

5月12日(金)、向陽小学校で3人の新入生を歓迎して、学校、地域ぐるみでのアットホームなイベントが開催されました。

まずグラウンドに集合して、6年生による司会進行で、はじめのことは、歓迎の歌、1年生インタビュー、縦割りのふれあい班で自己紹介のあと、湯本の恩湯広場に向けて元気よく出発していききました。恩湯広場到着後、各班に分かれてウオークラリーで10個のミッションをクリアしながら長門湯本温泉マスターに挑戦していました。恩湯や旅館協同組合では湯本温泉にまつわるいろいろなお話を聞き、カフェ&ポタリー音さんやえんがわゆもとさんと立ち寄りながら地元のみなさんと交流がおこなわれていました。ウオークラリー後は恩湯広場に集合して3人の新入生へ各学年から花輪などのプレゼントが渡され、3人は嬉しそうに目を輝かせていました。

最後に参加された地元の皆さんと子どもたちで記念の笑顔の写真に納まりました。



「深川川の秘密を探ろう」 あゆ放流体験

5月19日(金)、深川川で小学生によるあゆの放流体験がありました。ほつちやテレビ河川公園では深川小学校4年生84人が学習テーマ「深川川の秘密を探ろう」で参加し、約10cmほどに育ったあゆの稚魚を放流しました。

あゆの放流は平成19年から深川川漁業協同組合が深川川の環境づくりやあゆの資源確保を目的に行っており、放流体験は環境美化の大切さを子どもたちに伝えるために行われています。

今年度は深川川で計4万7千匹のあゆが放流され、これから夏にかけて約30cmほどに育っていくとのことでした。

あゆを直に触った子どもたちからは「すいかのにおいがする」という感想や、あゆは漢字で『かおるうお(香魚)』とも書くんだよと説明すると「そうなんじゃ!」と納得する声が続きました。



しっかりと食べて大きくなってね!



雨で溜まった水もかき出してくださいました

